

「再生可能エネルギーの 全量買取制度」に、 さまざまなご意見を いただきました。



「未来を支える新エネルギー」シンポジウム 再生可能エネルギーの全量買取制度導入に向けて

大阪

エネルギーの安定供給、CO₂排出量の削減、産業育成による経済効果などが期待される再生可能エネルギーの普及拡大のため、国が導入準備を進めている再生可能エネルギーの全量買取制度。買取りに必要な費用を電気料金に上乗せし、電気をご利用の皆様にご負担いただく制度です。再生可能エネルギーの可能性と、制度導入の背景や意義、事業者、消費者との関わりについて詳しく説明し、疑問にお答えするシンポジウムを開催いたしました。



渡辺 浩司
東京大学
先端科学技術研究センター
教授

再生可能エネルギーの拡大はエネルギー向上のため、国民全体で取り組まなければなりません。



石油、石炭、天然ガスなどを次エネルギーと呼ぶが、日本は約75%以上が、日本はわずか4%。中国は90%以上、イギリスでも75%以上だが、日本はわずか4%。電化製品の普及や生活スタイルの変化により、今後も電力消費量は増加すると予想されるが、日本の低いエネルギー自給率を踏まえ、電力の供給源について考えることは極めて重要である。



山田 哲朗
一般社団法人
日本再生可能エネルギー協会
代表理事

風力発電は、足元のものが活かせず、裾野が広い産業。事業として成立する制度設計を...

風力発電は日本のものづくり技術を活かせる産業。風車は方角も部品を使用する非常に精巧なメーカーのほかに、プロペラ、ブレード、変圧機や、個々の機器部品など、多くのメーカーが関わっている。地産経済や雇用などへの波及効果も大きい。

例えば風力発電は、1.5メガワットの大型風車だと機につき3億円くらいかかる。環境アセスメント(環境への影響に対する評価)や多くの手続きが必要となり時間もかかる。しかし太陽光発電は、自宅にも設置できる個人が比較的導入しやすい進捗である。まずはここから始めて、次に小水力、風力と、いろいろなものが並行して進めたいですね。



安永 崇伸
再生可能エネルギー庁
再生可能エネルギー
制度推進課長

全量買取制度の買取価格は1kWhあたり15円から20円、期間は15年。2000年代は地球環境の時代と言われる。これからは現世代と未来世代の共存の時代ではないかと、孫や、孫の子どもも思われる。そのための上乗せ料金も払えるかなど、業種ごとの取り組みも必要です。

開催概要
「未来を支える新エネルギー」シンポジウム
日時：平成22年11月5日(金) 14時～16時
場所：サンケイホールブリーゼ
プログラム：
開会挨拶
第一部 基調講演「進化する太陽光発電」
第二部 施設説明
第三部 ワークショップ
質疑応答

市川 まりこ
財団法人
日本消費者協会
消費者生活コンサルタント
国や再生可能エネルギーの産業に携わる事業者からも、責任を持って消費者に情報提供をさせていただきます。

安永 全量買取制度について、本日のシンポジウムのように、様々な場面で様々な機会を捉えて説明していきたい。太陽光発電の余剰電力買取制度では、標準家庭(月300kWhの電力を使用)の負担額は、制度開始10年後で1万円100円程度と試算している。全量買取制度が始まるころ、1kWh100円程度の上乗せされ、1か月1500～2000円程度のご負担が生じる見込み。電気をご利用される皆様にご負担をお願ひする制度なので、できるだけ多くの方にご参加いただき、今後ご意見を伺っていく予定です。

ご参加の皆さまから、たくさんのご意見が集まりました。

- 再生可能エネルギーが普及して、消費の負担が軽減される。
- 電気の使いやすさやコストを減らす。
- 税金は電気料金に上乗せ。
- 再生可能エネルギーの普及は、学校など、公共施設への導入がもたらす。
- 再生可能エネルギーの普及は、理解が深まる。
- 再生可能エネルギーの普及は、環境にやさしい。
- 再生可能エネルギーの普及は、環境にやさしい。
- 再生可能エネルギーの普及は、環境にやさしい。

再生可能エネルギーとは

再生可能エネルギーの全量買取制度とは

「再生可能エネルギーの全量買取制度」のしくみ

再生可能エネルギーの全量買取制度とは、日本生まれのエネルギーである再生可能エネルギーの普及のため、国では、すでにスタートしている住宅などの太陽光発電の買取制度に加えて、「再生可能エネルギーの全量買取制度」を準備中です。ご負担額は標準的な家庭の場合、来年4月から1ヶ月あたり数円～十数円程度で、その後、制度が開始すれば10年後には1ヶ月あたり150～200円程度(すでにスタートしている太陽光発電の買取制度分も含む)と見込まれています。

再生可能エネルギーの全量買取制度のしくみ

再生可能エネルギー(太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電、水力発電) → 発電した全ての電気を電力会社に送る → 電力会社から電気を送る → 再生可能エネルギー設備付家庭(※2)で電気を消費する

※2 再生可能エネルギーの買取にかかるお金、通常の電気料金に上乗せされ、電気をうつす方にご負担いただくことになります。

詳しい情報は [買取制度](#) [検索](#)